

読む・百人一首 061

伊勢大輔

いにしへの

奈良の都の

八重桜

けふ九重に

にほひぬるかな

読む・百人一首 062

清少納言

夜をこめて

鳥のそら音は

はかるとも

よに逢坂の

関はゆるさじ

いにしへの

ならのみやこの

やえざくら

けふここのへに

にほひぬるかな

よをこめて

とりのそらねは

はかるとも

よにあふさかの

せきはゆるさじ